


北海道大学

安全教育

年1回以上実施

北海道大学 機械知能工学科
安全主任者 学科長 大沼 正人

[次へ](#)
北海道大学安全衛生本部

0

工学部における緊急時の連絡先

日中 / 夜間・休日
 工学研究院警務室 011-706-3999 (内線 下4桁)

機械情報コース/機械システムコースにおける連絡先

	011-706-
学生委員 澤 和弘 (機械情報コース)	6663
及川 俊一 (機械情報コース)	6360
大島 伸行 (機械システムコース)	6335
原田宏之 (機械システムコース)	6391

[次へ](#)
北海道大学安全衛生本部

1

安全の手引

- 1 安全に対する考え方
- 2 本学の安全衛生管理体制
- 3 緊急時の対応
- 4 健康管理
- 5 さまざまなリスクへの備え

〇〇〇課/研究室における
リスクを低減するために必要な安全教育


[次へ](#)
北海道大学安全衛生本部

2

1 自ら「安全」を目指そう 安全の手引 p.1

- 「安全」は自らが確保するものである。
- (法令遵守は当然であるが) 法令を遵守するだけで安全が確保できるというものではない。
- たゆまぬ安全確保の自主的・能動的な取り組みが必要である。

自らが確保するもの

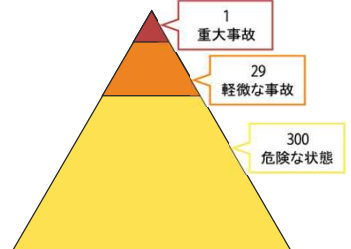


[次へ](#)
北海道大学安全衛生本部

3

3 ハインリッヒの法則 p.3

- ひとつの重大事故の背景には、29の軽微な事故と300の事故に至らない危険な状態(ヒヤリハット)がある。
- ヒヤリハット等の情報を把握し、その対応策を講じることが重大事故を防ぐ上で有効である。



注：この比率の数字自体は変わり得る

[次へ](#)
北海道大学安全衛生本部

5

7 「被害が発生していない」≠「安全」 p.7

- 「これまでに被害が発生していない」は「今後も被害が発生しない」ことへの根拠にはならない。
- 「運良く被害が発生していないが、今後、重大な被害が発生し得る状態」はあり得る。
- 「安全」を確保するためには、必要な措置を施すことが重要である。

[次へ](#)
北海道大学安全衛生本部

9

安全の手引

- 1 安全に対する考え方
- 2 本学の安全衛生管理体制
- 3 緊急時の対応
- 4 健康管理
- 5 さまざまなリスクへの備え

〇〇〇課／研究室における
リスクを低減するために必要な安全教育

次へ

北海道大学安全衛生本部

16

1 安全衛生管理における大学の特徴

p.14-15

- 社会に人材を送り出す高等教育機関である。
- 最先端も含めて幅広い分野の特徴を併せ持つ。
- 多様な年齢・身分の構成員が存在しており、短期間で入れ替わる者も多い。
- 公共機関として何かと社会的な注目を集めやすい。



札幌キャンパス



函館キャンパス

次へ

北海道大学安全衛生本部

17

3 安全衛生管理における「職員等」の範囲と責任

p.18

- 本学では、安全管理体制下にある者の責務を明確にしている。
- 職員等は、災害の防止および安全で快適な職場の構築に努める。
- 職員等は、活動への従事前、手順の変更時、および一年毎に安全主任者から安全教育を受ける。

事業者（総長）

↓

首席総括安全衛生管理者

↓

総括安全衛生管理者／安全衛生管理者／船長

↓

安全監督者

↓

安全主任者

↓

職員等 職員・学生等

次へ

北海道大学安全衛生本部

19

安全の手引

- 1 安全に対する考え方
- 2 本学の安全衛生管理体制
- 3 緊急時の対応
- 4 健康管理
- 5 さまざまなリスクへの備え

〇〇〇課／研究室における
リスクを低減するために必要な安全教育

次へ

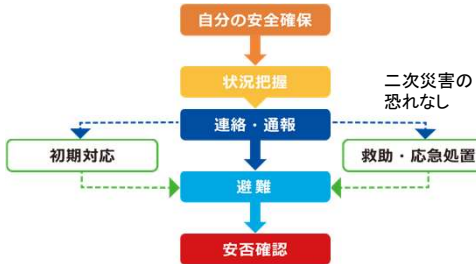
北海道大学安全衛生本部

29

1 緊急時の行動指針

p.30

- 災害等が発生したときは、まず自分の安全を確保する。
- 次に状況を周辺へ連絡・通報しつつ、被災者を救助する。
- 可能な場合は被害拡大の予防策をとり、避難する。



```

            graph TD
            A[自分の安全確保] --> B[状況把握]
            B --> C[連絡・通報]
            C --> D[避難]
            D --> E[安否確認]
            C --> F[初期対応]
            C --> G[救助・応急処置]
            F -.-> D
            G -.-> D
            
```

次へ

北海道大学安全衛生本部

30

2 緊急時の通報先

p.31

- 緊急度、重症度の高いときは119番する。
- それ以外は部局指定連絡先と医療機関へ。

平日の昼間

緊急度・重症度の高い場合
119番

緊急度・重症度が低い場合
北大病院
内線 5640、5641、5642

保健センター
内線 5484

部局 庶務係等(本書巻頭参照)

平日の夜間・休日

緊急度・重症度の高い場合
119番

緊急度・重症度が低い場合
北大病院 救急部
内線 5736 か 706-5736

部局 警務員室(本書巻頭参照)

次へ

北海道大学安全衛生本部

31

3 火災発生時の対応 p.32-33

- 火災を発見したら大声で周辺の人に知らせる。
- 部局の指定連絡先や119番へ連絡する。
- 可能な場合は協力して初期消火を行う。



次へ

北海道大学安全衛生本部

32

4 地震発生時の対応 p.34-35

- 照明の落下や書棚の転倒等から身を守る。
- 負傷者を救助し、二次災害予防策をとる。
- 避難場所へ移動、安否確認と状況連絡をする。
- 通学・通勤前や最中に大震災が起きた場合、帰宅して自宅待機、または最寄りの避難所へ避難する。




次へ

北海道大学安全衛生本部

33

5 救急処置 p.36-38

- 呼吸停止の際は胸骨圧迫を行い、次にAEDを使う。
- 急性アレルギー発症時は衣服をゆるめ、医療機関へ搬送する。



次へ

北海道大学安全衛生本部

34

6 応急処置 p.39-40

- ケガの程度を調べ、診察・治療を受ける。
- 重篤な熱中症の場合は、医療機関へ搬送する。



次へ

北海道大学安全衛生本部

35

安全の手引

- 1 安全に対する考え方
- 2 本学の安全衛生管理体制
- 3 緊急時の対応
- 4 健康管理
- 5 さまざまなリスクへの備え

〇〇〇課／研究室における
リスクを低減するために必要な安全教育


次へ

北海道大学安全衛生本部

36

1 感染の予防と管理 p.41-43

- 感染への抵抗力（免疫）が低下した場合、感染症を引き起こす。
- 感染には様々な経路があり、それらに対応した対策を取る。
- 感染症で医療機関へ受診する際は電話で確認後、感染防止のためマスクを着用の上、最初に必ず窓口に症状を伝える。



次へ

北海道大学安全衛生本部

37

2 飲酒について p.44-45

- 二十歳未満の飲酒は法律違反である。
- 本学ではアルコール強要を禁止している。
- 緊急事態が起きた場合は躊躇せずに救急搬送を依頼する。

北海道大学安全衛生本部

38

5 疲労 p.48

- 疲労により作業ミスの増加などが現れる。
- 深夜作業は非能率的である。
- 疲労は蓄積する。
- 疲労の軽減に休息は有効である。
- 作業環境の整備も重要である。

北海道大学安全衛生本部

41

9 メンタルヘルス p.53-54

- メンタル面の不調等が原因の自殺や就業不能等が社会問題となっている。
- 自分の心の状態に注意を向け、いつもと違う自分に気づくことが大切である。
- 周囲の人が早期に気づくことも大切である。
- 緊急の場合、すぐ医療へつなぐことが重要である。

北海道大学安全衛生本部

45

安全の手引

- 1 安全に対する考え方
- 2 本学の安全衛生管理体制
- 3 緊急時の対応
- 4 健康管理
- 5 さまざまなリスクへの備え

〇〇〇課／研究室における
リスクを低減するために必要な安全教育

北海道大学安全衛生本部

46

1 屋外におけるリスク p.59-61

1-4 自転車について

- 安全運転の義務がある。

北海道大学安全衛生本部

51

1 屋外におけるリスク p.62

1-5 交通事故

- 事故防止のため学生の自動車・オートバイ等による通学を禁止している。
- 不注意（油断）や無謀運転が事故を引き起こす。

北海道大学安全衛生本部

54

1 屋外におけるリスク

p.66

1-8 課外活動における事故防止対策

- サークルが行事を企画する場合には事故防止について検討をする。
- 傷害保険等へ加入する。



次へ

57

3 実験室内におけるリスク

p.76-77

3-1 実験における一般的注意事項

- 実験の状況に応じて適切な安全対策を取る。
- 事故発生時の対応の仕方を事前に把握しておく。



次へ

北海道大学安全衛生本部

63

4 傷害保険、労災保険など

p.82-83

4-1 事故等に対する補償

- 学生は「学研災」および「付帯賠償」へ加入する必要がある。
- 本学から給与が支給される教職員は、労働者災害補償保険の適用を受けることができる。
- 海外におけるリスクには海外用の保険が有効であり、またフィールドワークのために渡航する場合は海外傷害保険をかけなければならない。

次へ

北海道大学安全衛生本部

68

ここに一番近いAED

p.87-90

「工学部玄関ホール」



次へ

北海道大学安全衛生本部

73